

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第112回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第44回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第113回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第112回運営委員会議事録

期 間：2015年8月27日(木)～8月31日(月)

議 題：学会賞選考委員の新任の承認

運営委員：

倉本 圭, 渡邊 誠一郎, 荒川 政彦, 田近 英一, 中村 昭子, 千秋 博紀, 中本 泰史, 並木 則行, 平田 成,
林 祥介, 井田 茂, 和田 浩二, 春山 純一, 竹広 真一, 諸田 智克, 永原 裕子, 橘 省吾, はしもと じょーじ,
小久保 英一郎, 荒井 朋子, 佐々木 晶, 生駒 大洋, 小林 直樹

成立条件：期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法：上記期間内にe-mailにより投票

議題：学会賞選考委員の新任の承認

*谷川享行(産業医科大)

★議決は可否による。[可・否]

なお、これに伴って現職学会賞選考委員の竹内拓(東工大)は退任とする。

議題は全会一致で承認された(可23, 否0)。

◇日本惑星科学会第44回総会議事録

日 時：2015年10月15日(木)16:20-17:20

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス地球生命研究所ELSI-1 1階東側ホール
〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

正 会 員：630

定 足 数：63

参加人数：84名(開会時)(これに加えて非会員の傍聴者3名)

>109名(議事3.1採択時)>109名(議事3.2採択時)

委 任 状：58通(ただし、内1通分は提出者が総会に参加したため無効)

議 長：56通

倉本 圭会員：1通

はしもと じょーじ会員：1通

1. 開会宣言

諸田総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に藪田ひかる会員、書記に坂谷尚哉会員が選出された。

3. 議 事

3.1. 第13期下期(2015年度)中間報告

・会計報告(竹広財務専門委員長)

収入・支出ともにほぼ予算通りに進んでいる。支出が若干多めであり(消費税8%の影響)、今後注意が必要。

・各種専門委員会報告

なし

・質疑応答及び討論

なし

・採択

第13期下期活動報告の採択が行われ、賛成：167(うち出席者109)、反対：0、保留：0により採択された。
注) 総会時には出席者を111名としたが、非会員が含まれていたため後日109名に訂正。

3.2. 第14期上期(2016年度)予算案

・説明(竹広財務専門委員長)

以下の資料修正箇所が報告された。

・収入の部 2016年予算額

前期繰越収支差額 → 7,599,063

・支出の部 2016年予算額

原稿起こし、カラーページ費用 → 100,000

当期収支差額 → -663,600

次期繰越収支差額 → 6,935,463

2015度から、以下の変更があった。

収入：賛助会員が減少し、前年度から－20万円

会費滞納分を70万円に増額

支出：EPS分担金が10万から20万に値上がり。

サーバー基礎開発費30万円。

カラーページ費用を0円とする(自己負担)。

倉本会長より、

今後の消費税増税もあるため、改善が求められる。

原稿費や学会賞、研究会補助の支出を考え直さなくてはならない。

会員数を増やす努力も必要。

が伝えられた。

・質疑応答及び討論

なし

・採択

第14期上期予算案の採択が行われ、賛成：167(うち出席者109)、反対：0、保留：0により採択された。

注) 総会時には出席者を111名としたが、非会員が含まれていたため後日109名に訂正。

4. 報告事項

4.1. 自然災害に伴う会費免除措置について(竹広財務専門委員長)

現時点での申請者無し。2016年1月中旬締め切り予定なので、早めに申請を。

4.2. 学会賞授賞式：2014年度最優秀研究者賞および2015年度最優秀発表賞(中村学会賞選考委員長)

2014年度最優秀研究者賞の授賞式は記念講演会の前に行われる予定。

2015年度最優秀発表賞(中村学会賞選考委員長)

11名の応募があったが、資格審査・予備審査を経て、6名を本審査対象者として選出した。

以下の2人が受賞し、倉本会長から表彰状・副賞が送られた。

・田中 佑希 会員「磁気流体波動がガス惑星の大気散逸と大気構造に与える影響」

・田崎 亮 会員「原始惑星系円盤における高空隙率出すとの光学特性とその応用」

中村学会賞選考委員長より、選考の経緯と講評の説明があった。

受賞者からの挨拶があった。

4.3. 2015年秋季講演会の報告(井田2015年秋季講演会組織委員長)

(玄田会員より)

当初の予定を大幅に超えて、参加者170名以上であったことが報告された。

4.4. 2016年秋季講演会の案内(はしもと2016年秋季講演会組織委員長)

(浦川会員より)

開催日：2016年9月12日－14日

場 所：ノートルダム清心女子大学・カリタスホール(岡山駅より徒歩10分)

4.5. その他

JpGUに関して(倉本会長より)

来年参加料が値上げ予定であること、代議員選挙の投票受付中であること、学術会議関連の報告が行われた。

2014年に提出した大型研究計画の概要が述べられた。

コンソーシアムの構築として、ISAS大学連携拠点形成プログラムに採択された。

火星衛星SR計画に関して(倉本会長より)

コンセプト、選定の経緯、目標等が報告された。

8/25 予備MDR実施

11/02 国際MDR

11/4, 5 MDR

年内にSRR

来春にJAXAプロジェクト準備審査

多方面からのサポート、建設的な批判などが必要である。

-CPSでワークショップを企画中

-JpGU小天体セッションで特集を予定

SLIMに続く、公募型小型計画2号機、3号機(イプシロン)が近々に募集予定であるため、提案予定の方は早めにご連絡いただきたい。

質疑応答

(小林会員) 火星衛星SRに関してのplanetary protectionは考えているか。

(倉本会長) 現状では十分に検討できておらず、今後の課題とする。

(渡邊会員) 現在参加していない方々にもサイエンス面での積極的な議論をお願いしたい。

探査ミッション立案スクールについて(上野会員)

CPSが合宿形式の探査ミッション立案スクールを開催する。資料が配布された。

日 時：2016/01/08 - 2016/01/12

場 所：神戸大学統合研究拠点3F：惑星科学研究センター内

対 象：大学院生(+ポスドク, 若手)

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会第113回運営委員会議事録

日 時：2015年10月14日(水)17:40 - 21:00

場 所：東京工業大学 大岡山キャンパス 石川台2号館318号室

運営委員：

倉本 圭, 渡邊 誠一郎, 荒川 政彦, 田近 英一, 中村 昭子, 中本 泰史, 平田 成, 井田 茂, 和田 浩二,
春山 純一, 竹広 真一, 諸田 智克, 橘 省吾, はしもと じょーじ, 小久保 英一郎, 荒井 朋子, 佐々木 晶,
生駒 大洋, 小林 直樹

オブザーバー：

城野 信一(行事部会長)

欠 席：

千秋 博紀, 並木 則行, 林 祥介, 永原 裕子

委 任 状：

議長：2, 小林 直樹：1

議題・報告事項：

1. 入退会について

諸田総務専門委員長より, 入退会状況が報告された。

2. その他総務からの案件(議長・書記等)

諸田総務専門委員長より, 第44回総会の議長に藪田 ひかる 会員, 書記に坂谷 尚哉 会員が推薦された。

3. 遊星人の発行状況報告(和田編集専門委員長)

和田編集専門委員長から発行状況について報告があった。

つつがなく発行している。

前号ページ数が最大級であった。

印刷費は問題ないか？(渡邊)

財務に確認する。(和田)

4. 遊星人出版倫理規定について

和田編集専門委員長からオーサーシップと二重投稿禁止に関する規定の提案があった。

二重投稿についてどこまで厳密に対応するか？英語論文を日本語で書き直した場合などは？(渡邊)

英語論文を引用する形で解説を付与した場合はよいと判断する。直訳ではだめ。(和田)

このようなガイドラインを示すことで投稿数が減るのが気がかり(渡邊)

編集部内で内規を設け運用する(和田)

規定はオリジナル論文とそれ以外の記事で適用範囲を分けている。(和田)

できるだけ早く公示・施行する。

5. 2015年秋季講演会報告

井田2015年秋季講演会組織委員長より報告があった。

事前登録：166

当日参加：30弱

190名程度の参加にはなる見込み。

席数は140－150でおおよそ埋まっている

試みとしてマイクをなしにしてみた。現状では問題なさそうである。

6. 2016年秋季講演会実施案

はしもと2016年度秋季講演会組織委員長より2016年度秋季講演会の報告があった。

9/12(月)－14(水)

ノートルダム清心女子大学

懇親会会場も同じ

日程についてはsteering-mlで議論した上で決定した(参考:[steering:28097])

LOCは、はしもと、水野(ノートルダム清心女子大)、浦川、道上(近畿大)の体制。

7. 今後の秋季講演会について

城野行事部会長より今後の秋季講演会の予定について報告があった。

2017年：大阪大学

2018年：今後打診

8. 予稿集公開について

城野行事部会長より今後の予稿集公開について報告があった。

遊星人、秋季講演会予稿集のNiiでの公開サービスが終わる。

NIIへの登録・公開が終わる

jstageへ移行を行う場合はxmlでメタデータを作る必要がある

jstageへ移行申請はするが、xmlを作る労力を考えると移行すべきかどうかは問題

xmlファイルさえ用意できれば無料で公開できる。(倉本)

無料である(城野)

業者にxmlファイル作成を依頼する場合の予算は？(小林)

確認する(城野)

一度、関係者が講習会に参加して対応可能か検討することになった。

9. LOCの口座について

城野行事部会長より引き継ぎ口座の開設について相談があった。

引き続き検討する。

10. 惑星サーバの移転について

平田情報化専門委員長より惑星サーバの移転について報告があった。

2016年4月ごろに新サーバに移転する予定。

11. シニア会員制について

橘将来計画専門委員会より終身会員制度について提案があった。

海外では例がある。

引き続き検討する。

12. 運営委員の連続再任制限について

運営委員の連続再任制限はないか？

新陳代謝はあったほうがよい

検討を続ける。

13. 会計第13期下期中間報告

竹広財務専門委員長より第13期下期会計中間報告があった。

予算通りにおおよそ進んでいるが、遊星人印刷費高もあり支出が多くなっている。

資料中の前期繰越収支差額は7,427,321ではなく7,599,063の誤り。

14. 自然災害に伴う会費免除措置等について

竹広財務専門委員長より現時点で申請者がいないことが報告された。

15. 会計第13期上期予算案

竹広財務専門委員長より第13期上期予算案があった。

EPS分担金をこれまでの10万から20万計上することとした。

賛助会員の減少など20万減、EPS分担金を10万から20万計上、遊星人印刷費を多くしたことで~86万の赤字予算になる。遊星人のカラーページサービスを休止とする。

総会で会長から学会賞賞金の是非を確認する。

16. 最優秀発表賞受賞者の決定

中村学会賞選考委員長より選考委員会での選考の結果が報告された。これにより

田中 佑希 会員(名古屋大学)

田崎 亮 会員(京都大学)

が受賞候補として推薦され、異議なく承認された。

17. 日本地球惑星科学連合の報告

倉本会長、田近委員より学協会長会議の報告があった。

法人運営規定の小改正

学会会議活動報告

マスタープラン改訂(2017年)のための活動開始

アンケートを実施した(学会では会長と将来計画委員会で対応)

今回の大改訂(マスタープラン 2019)に向けた検討も必要

学協会長会議議長は海洋学会会長となる

AGUとのジョイントセッションを設ける

2017年度はAGUと共催にする

2018年以降もEGUやAOGSとの共催の可能性も検討するなど、国際化を進める

参加費を上げ、外税方式にする

ポスター比率を上げたい(国際展示場も使って面積は増やす)

代議員選挙投票、フェロー推薦の依頼があった

連合大会の学生発表賞について審査員の負担が大きすぎる。やり方を改善できないか。(中村)

検討する。(佐々木)

18. 大型研究計画について

倉本会長から大型研究計画について報告があった。

コンソーシアム構想の改定をする予定である。その他に提案予定があれば早めに連絡すること。

今回の改定で火星衛星も位置付けるべき。(渡邊)

その予定である。(倉本)

その次の改定はいつになるのか?(春山)

2019年である。(倉本)

19. 将来惑星探査について

倉本会長から火星衛星サンプルリターン計画について報告があった。

11/2に国際MDR, 11/4, 5に国内MDR.

12月中にSRR, 1月に準備審査の予定である.

宇宙探査小委員会で概算要求は通った.

イプシロンを使ったミッションの公募がある.

今後, RFIの小改定の見込み.

20. その他

特になし

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2015年12月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

株式会社五藤光学研究所

有限会社テラパブ

株式会社ニュートンプレス

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません. 各自でご確認ください.

2016/06

6/26-7/1

Goldschmidt Conference 2016

(a)横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜), 神奈川県横浜市

(b)European Association of Geochemistry, Geochemical Society

(c)<http://goldschmidt.info/2016/index>

2016/08

8/7-8/12

第18回結晶成長国際会議(ICCGE-18)

(a)名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市熱田区

(b)The Japanese Association for Crystal Growth, The Japan Society of Applied Physics

(c)<http://www.iccge18.jp/index.html>